

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-127782

(43) 公開日 平成11年(1999)5月18日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I
A 2 3 F 3/14

審査請求 未請求 請求項の数 5 FD (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平10-89287
実願平9-9986の変更
(22)出願日 平成9年(1997)10月25日

(71)出願人 597158702
三浦 直子
静岡県富士市横割 5 丁目10番31号

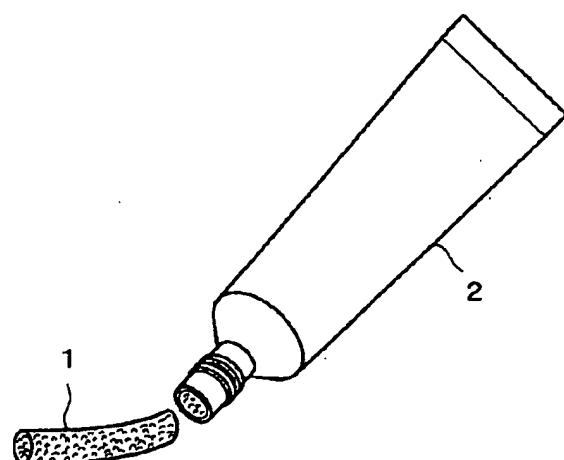
(72)発明者 三浦 直子
静岡県富士市横割 5 丁目10番31号

(54) 【発明の名称】 容器入り緑茶ペースト

(57) 【要約】

【課題】 湯または水に溶くだけで簡単に緑茶を丸ごと飲用することができ、しかも食品材料としても手軽に使用することができる、容器入り緑茶ペーストを得る。

【解決手段】 チューブ状容器に緑茶ペーストを注入し、小出しに分けて使用し、または、カップ状容器、袋状容器、スティック状容器に緑茶ペーストを注入し、1回毎の使い切り使用をする。



3

②食品材料として使用する場合に於いて、すり鉢やフードプロセッサーを使用して茶葉を粉碎する必要がなく、簡単かつ手早く使用することができる。しかも、粉末茶のように飛散することがない。

③緑茶に含まれる水溶性成分の他、食物繊維やビタミンA、ビタミンE等の不溶性成分すべてを手軽に丸ごと攝取できるため、抗菌作用、殺菌作用、発ガン抑制作用、抗ウィルス作用、抗アレルギー作用または消臭作用など各種効果を得ることができる。

④チューブ状容器または使い切り容器に注入包装したことにより、一般家庭用および携帯用として使い勝手が良い。

4

【図面の簡単な説明】

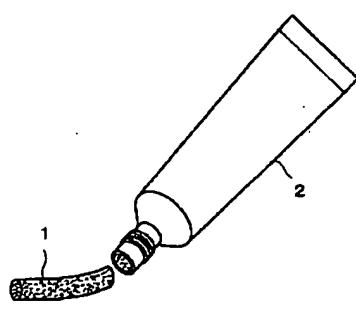
【図1】本発明の容器入り緑茶ペーストの一実施例であるチューブ状容器入り緑茶ペーストの外観図である。

【図2】本発明の容器入り緑茶ペーストの他の実施例を表す外観図である。

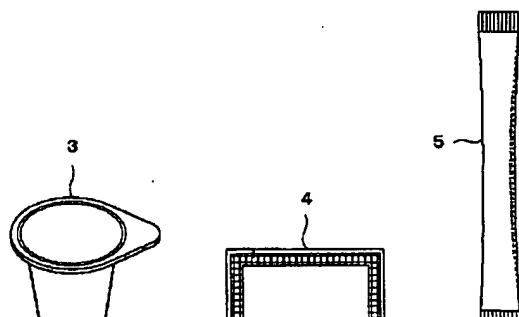
【符号の説明】

- 1 緑茶ペースト
- 2 チューブ状容器
- 3 カップ状容器
- 4 袋状容器
- 5 スティック状容器

【図1】



〔图2〕



PAT-NO: JP411127782A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11127782 A

TITLE: GREEN TEA PASTE IN CONTAINER

PUBN-DATE: May 18, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MIURA, NAOKO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MIURA NAOKO	N/A

APPL-NO: JP10089287

APPL-DATE: March 18, 1998

INT-CL (IPC): A23F003/14

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a green tea paste in a container capable of easily drinking the whole green tea by dissolving the paste with a hot water or water, and also readily utilizing as a material for a food.

SOLUTION: This green tea paste in a container is obtained by filling the green tea paste in a container and used by diving it as small portions, or used as a disposable way in each time by pouring the green tea paste 1 into a cup-shaped container, a bag-shaped container or a stick-shaped container.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO